

# 宮城同友会 50周年に向けて仲間の輪を広げよう! vol.6

9月で今年度も半期が終了しました。組織活性化委員会では毎月第2・第4水曜日の2回にわたり welcome 同友会を開催しています。最近の傾向として、入会間もない新会員がゲストさんをお連れいただくケースが増えています。手前味噌ですが、welcome 同友会が新会員の皆様にとって満足度の高い時間と空間になってきたと感じています。Welcome 同友会は新会員やゲストさんだけでなく、どなたでも参加可能です。例えば、現会員からほかの方に会員登録を変更した際の後任の方、会員歴は長いが、しばらく会活動に参加していない方など、改めて同友会の活動や参加の仕方を紹介させていただきますので積極的にご参加ください。

今月号からは、成長と変革特別学習会のコラムを掲載しています。来年7月の中同協定時総会 in 宮城に向けて全国レベルの実践報告に触れる機会です。是非一読いただき自社経営にお役立てください。

中同協第56回定時総会 in 宮城実行委員会 presents

## 成長と変革特別学習会 COLUMN 「経営理念の使い方 ~ 正解は一つじゃない~」

(株)吉村 代表取締役

**橋本 久美子氏** (東京同友会 / 代表理事)

事業概要：茶・海苔を主とする食品包装資材の企画、製造、販売



『経営理念は掲げるものではなく、使うものだ』そう言われて、あなたの首は縦に振れるでしょうか。それとも斜めに傾くでしょうか。9月の『特別学習会』は、首が斜めに傾く人にとって学び多き会となりました。

(株)吉村は創業90年。茶葉を紙茶紙に詰める加工販売業として創業。祖父から父へ、父から娘(橋本氏)へと経営のバトンを引き継ぎ、事業を拡大していきました。それでも日本茶業界は、コーヒーやペットボトルの台頭によって徐々に縮小。10年で売上が8億円下がった2005年、橋本氏は同友会に入会します。入会して感じたことは「労使見解? 指針の成文化? ドン引き。さぶいぼ。」だったそう。それでも「自分には同友会しかない。1例会1アクションでパクリ」と色々な手法を学び自社で実践します。そして苦勞の末、会社が再成長しているときに東日本大震災が発生、売上が激減。社員からは「あんたのせいでこんなことになるんだ!」と言われてしまいます。この経験から経営理念を成文化した橋本氏は、これまでの『社員をなだめて、褒めて、ときには頭も下げて「やってもうらう!」という自分の経営姿勢が社員のやりがいや自主性を奪っていた事に気づきます。

そして、経営理念の社会性(社会にどう役立つ)・科学性(何で儲ける)・人間性(社員とどう関わる)の3つの柱のもと、「小さくても社員がキラリ」を掲げ、社員一人ひとりが会社経営を自分事として感じられる取り組みを始めます。

- 経常利益から逆算して必要売上を共有。如何に稼ぐか・損失機会を減らすかへの考え方へシフトチェンジ。
- 業務改善の起案を出しやすくするユニークな取り組み
- 自分ごととして業務に取り組んだ社員がより早く昇級できる取り組み

など、様々な取り組みをしていくなかで、たとえ一時的にうまくいかなかったとしても、どうすれば実現したい形となるのかを社員と共に考えられるようになり、それが新しい企画や製品開発、事業領域の拡大に繋がったのだと橋本氏は話されていました。

今回の報告で、経営理念は使うものであるということ、そして「社員の活躍」を実現するそのすべてが正解となり、また新たな正解が生まれ創られてゆくのだと、大きな気づきを得ることができました。

さて、あなたの会社には、社会性・科学性・人間性の経営理念はありますか?そして、掲げるだけではなく自社経営に使えていますか?正解は一つじゃない。社員・仲間と共に実践していきましょう!

[寄稿:分科会学習グループ 成田/越川]